

第12号議案

「F E S コンテスト (Financial Education Support Contest)」の後援名義の使用について

上記の議案を提出する。

令和5年3月30日

提 出 者 文京区教育委員会  
教育長 加藤 裕一

別記様式第1号 (第6条関係)

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

2023年3月6日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 一般社団法人日本金融教育支援機構

住所 (所在地) 東京都中央区銀座1-22-11 銀座大竹ビジデンス2F

代表者名 (ふりがな) ひらい りさ  
平井 梨沙

代表者連絡先 (事務担当者) 070-8394-6537

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催・後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	FESコンテスト (Financial Education Support Contest)	
共催又は後援名義等の使用を必要とする理由	これまでの当団体の取り組みが文京区を中心とした取り組みであったこと、また金融教育の先進区として、文京区の中学生を中心に、当団体が策定した「(金融の)8つの力」から中高生自身が興味ある項目を選択してワークショップを実施することで、文京区の中高生の参加を促進する。	
実施期間	2023年5月8日(月) から 2023年11月25日(日) まで (201日間)	
実施場所	授賞式は現地とオンラインのハイブリット開催を予定。ワークショップは文京区を中心に全国の中学校・高校にて実施を予定。	
事業内容	目的 ※	不安を安心して、そして自信へ。将来の選択肢を増やす金融教育を目指し、イベント事業などを通して企業様との協業を行いつつ、金融教育を通して、未就学児から大学生まで自分事として学べる金融教育の提供することで、「生きる力」を育むことを目的としている。  日本の将来を担う子どもたちが、自分たちの力で自らの選択肢を増やし、そしてその中でしっかりと選び取っていくことを応援したい。例え間違った選択をしたとしても、またやり直すために背中を押せるような環境づくりもサポートしていく。



事業内容	内容	<p>今回企画しているFESコンテストは、大学生主体となり、中高生が応募する、『小学生のための金融教育を伝える縦型動画コンテスト』である。</p> <p>学生の学生による学生のためのコンテストを開催することで、小学生から大学生まで、異なる年代の児童生徒がそれぞれの立場で学びを深めるとい金融教育の「入れ子構造」を織りなす側面も持っている。</p> <p>現在の金融教育の指標として、SDGsのような誰でも認知できるものがないため、当団体で分かりやすいロゴを用いた「8つの力」を指標とし、学生達が学びやすくなる仕掛けを作成。</p> <p>「増やす」にフォーカスされがちな金融教育ではなく、「使う」「稼ぐ」「備える」「貯める」「納める」「増やす」「借りる」「寄付する」の8つの力を総合的に育成し、社会で生き抜く力を習得させる内容となっている。</p> <p>今回のコンテストをきっかけとして、文京区を中心とした中学生に向けたワークショップを展開する予定である。以前に、文京区の中学校に向けた出前授業の依頼をいただいていたが、スケジュールの都合上実現しなかった背景があるため、学校現場から手が上がる可能性は高いと考える。また、文京区からのご要望も引き続き頂戴している状況の為今回を機に、当団体としてもぜひ実施したい。</p> <p>(対面もしくはオンラインでの開催を想定。Bラボでの展開、ならびに文京区立大塚地域活動センターオープンスペース(中央大学)を利用しながらの継続的な展開。また学校教育へのアプローチも行っていく。)</p>
	対象者	文京区を中心とした、全国の中学生・高校生 (参加予定人員100人)
	参加費	無料
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)	<p>【承認済み】消費者庁</p> <p>【申請中】大阪万博、小金井市教育委員会、印西市教育委員会、三菱みらい育成財団</p>	
備考	協力会社、協賛会社数社予定	
<p>申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。</p> <p>公開することに <input checked="" type="radio"/> 同意する ・ <input type="radio"/> 同意しない</p>		

※ 「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

# FESコンテスト

FINANCIAL EDUCATION SUPPORT CONTEST FOR STUDENT



＜参考＞

一般社団法人日本金融教育支援機構  
理事紹介

## 代表理事：平井 梨沙



## Profile

平成元年生まれ。香川県出身。地方の私立中高に通う。

5歳と2歳の2児の母。学習院大学卒業。

大和証券にて勤務後、日本生命保険相互会社に転職。団体年金部(確定拠出年金専門)に配属。企業型確定拠出年金を中心に、証券、税金、年金の視点より約 6000名の相談業務に携わる。

金融商品や制度においては、加入や購入ではなく、受け取りや売却といった出口部分こそサポートが必要であると感じ独立系FPとして活動。また学生時代の自身の経験より、地方の金融教育の重要性を痛感。

オンラインツールを使いながら、楽しく学べるコンテンツを展開。現在はオンラインにてベネッセ学童500名、文京区経済課との小学生に向けての金融教育イベントを担当。

2023年にはパンナグループにて内定者向けの金融教育、へーベルハウスにて産育休中の社員向けのマネースクール講座を担当予定。

資格:証券外務員 I 種、AFP、CFP(5科目)、DCプランナー



ここからは商感選びについてアドバイスさせていただきます。そもそもつみたてNISAって何かわかりますか？

ネットで調べてとりあえず口座だけは作ったのですが、正確さまり分かっていないかもです...



今すぐ口座開設する



理事：中林 友美



アクセルランキング

1月期 24時間 掲載 月間

● 82歳女性が大後悔…「高齢者ホーム」に入居した結果、重傷した「悪いがけない事案」  
※ 4月発表 | 100001316

2月期 24時間 掲載 月間

● 82歳女性が大後悔…「高齢者ホーム」に入居した結果、重傷した「悪いがけない事案」  
※ 4月発表 | 10001316

患者の感情裏面を探す  
NURSEを用いた  
コミュニケーション  
スキル

● 4月発表 | 10001316

Profile

東京都豊島区出身、茨城県在住。

富山医科薬科大学大学院(現・富山大学大学院)  
修士課程(医学系研究科成人看護学(慢性期))修了

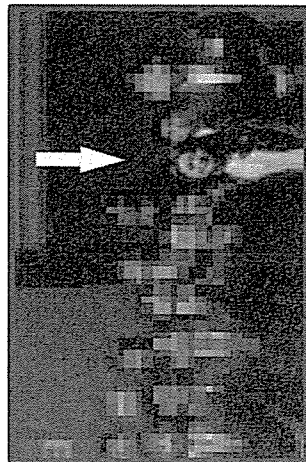
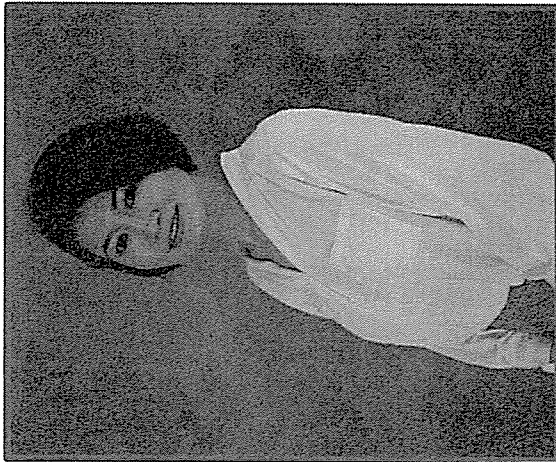
国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院 元副看護師長

12歳の男子の母

看護師としてキャリアを継続する中で男児を出産。出産後 3か月半で職場復帰するも、息子が1歳になる前に先天性の免疫不全との診断される。完治には骨髄移植しか方法がなく、骨髄バンク経由でドナーから骨髄提供を受けた。  
 この経験から、仕事よりも自分の大切な家族が最も優先される存在であることを実感。その時々ベストを尽くしてなるべく後悔しないような人生を歩むことを決意し、退職。

自らの経験から、多忙な医療従事者がお金とキャリアについてワンストップで相談できるフォローアップオフィスを立ち上げる。  
 今後は、医療従事者を目指す学生に向けた金融教育にも力を入れていく予定

## 理事：阿部 奈々



東証1部上場時のセレモニーの様子

## Profile

鹿児島県出身、高校卒業まで鹿児島で育つ  
高校卒業後はアメリカ留学、中国留学を経て中国で就職

7歳の双子の母

国内外にて大手商社、IT企業等の経営企画・事業企画・広報・IR・法人営業等15年以上に渡り従事。台湾向け新規事業立ち上げ、JASDAQ～東証1部のIPOを経験し、その後株価が最盛期の4分の1まで下がるといった事業の栄枯盛衰を目の当たりにする

金融業界出身ではない、一般的な視点からの知見での金融教育を大切にしている

PR広報の専門家として、千葉県産業振興センターにて専門家登録済み。

飲食系プレスリリース3日間で5000PV超、その他、NHK番組取材、日経新聞、Yahoo!、LINE、livedoorニュース等に掲載実績多数  
落合陽一氏のイベントPR、瀬戸大也氏のスポンサー契約PR、マクドナルドイベント企画・運営、上場企業の海外向け・海外企業の国内向けPR、記者会見対応等

2022年にPR広報・イベントからIR対応まで幅広く手掛ける、aigateを立ち上げた



## 企画概要

大学生が主体となり中高生が応募する、  
**『小学生のための金融教育を伝える動画コンテスト』**を実施



小学生から大学生まで、異なる年代の児童・生徒・学生が  
それぞれの立場で金融教育をとらえ直し  
学びを深めるという「入れ子構造」の側面もある

**Financial Education Support Contest for Student**  
**学生のための金融教育支援コンテスト(FESコンテスト)を実施**



# 提案背景(金融教育)

## 国内

- ①学習指導要領の改訂により、令和4年度から高校の家庭科の授業で、投資や資産形成まで踏み込んだ金融経済教育が必修となった。
- ②2022年4月から成人年齢の引下げに伴い、18歳から、金融商品の取引を親の同意なく行うことができる。  
⇒金融知識が無いことで、トラブルになるケースが想定される。

## 国外

国際的に見て、日本の若年層の金融リテラシーは低く、特に複利やインフレ、分散投資に関する質問の回答率は欧米国と比べ20%以上も下回るという項目も \*1  
デジタル人民元や仮想通貨など、お金の大変革期でもある。  
⇒日本の国際競争力強化には、金融教育がマスト。

\*1 出典：<https://soctama.jp/column/73651>



## 提案背景（学校現場）

### 中学・高校

- ①コロナ禍で閉鎖的にならざるを得ない学校にとって、PRの場が減ってしまった。
- ②学生の成長のきっかけだけでなく、入学者の増加の両軸で、コンテストの応募に積極的になっている。

### 大学

- ①コロナ禍でサークル文化がなくなっている。⇒サークルの廃部を余儀なくされている。
- ②文化祭も縮小・オンライン開催等により、長期インターンが主流。大学と学生との接点が減少。



# 金融教育の現状(現役中学生の声)

## お金について知りたいこと

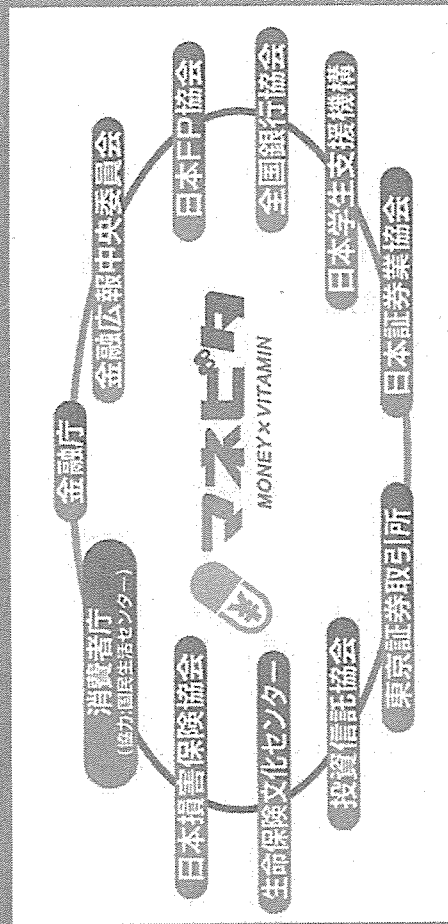
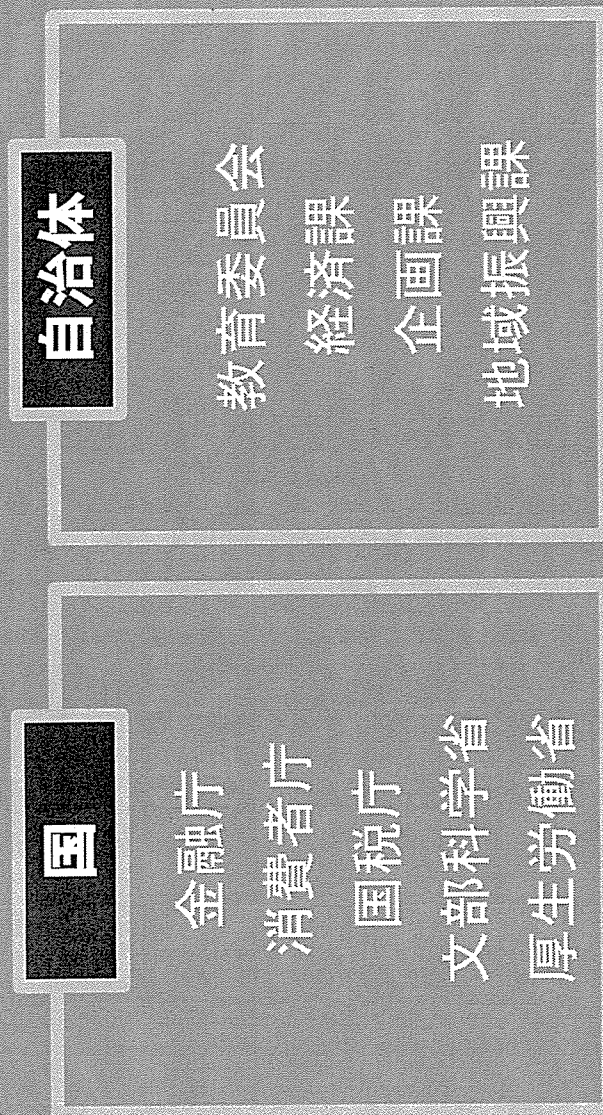
資産って何？ 株のやり方は？ コロナ禍で稼いでいる企業は？ 無駄遣いしないようにするためには？  
2000万問題について本当に貯めておかなければならないのか？ 確定申告とは？  
クレジットカード等、キャッシュレスの使い方について 投資のやり方は？ 上手なお金の使い方は？  
社会人になったら大学の学費半分を親に返すつもりだが、仮に200万だとしてざっと何年で返せるか？

## お金って何？ お金に対するイメージ

働いて得る(仕事で稼ぐ)もの 夢を叶えるもの 何かのものと交換できる  
人をよくも悪くも変えるもの 影響力があるもの 価値を保存するためのもの  
モノやサービスを得る時に希望者が目に分かる価値のあるものを守るため  
生きていくうえで必要不可欠 一定の価値が定められたものやサービスの対価



# 金融教育の現状(国・自治体)



全体的に、担当課が不明瞭(初期のSDGsと同様)  
明確な予算組がなされていない ⇒ 徐々に予算がついている状況



## 今の学生の状況

SGH(スーパーグローバルハイスクール)や学生向けセミナーの普及

⇒ 学生たちのSDGs理解は非常に高まっている

SDGsへの理解が乏しいのは、むしろ大人の方  
そこにプラスアルファ、金融教育の学びが追加され  
将来を担う学生世代の発信こそが、日本全体の学びに繋がる。

動画であれば日本全国どこからでも応募できる

⇒ 都心と地方の金融リテラシー格差をなくすことにも繋がる



# 当団体の金融教育とは ～将来の選択肢を増やす金融教育を～

## イベント

楽しみながら学べて生きぬく力につながる、金融教育の企画・運営・フォローアップを実施

## 学生のキャリア教育の実行支援

金融教育とキャリア教育を両軸に、人生100年時代を見据えて社会で生き抜く力を育成

## 従業員金融教育

資産形成の視点より、国の制度を中心に法人様向けの従業員教育を行い、老後の安心をサポート



# FESコンテストについて

項目	内容
概要	中高生が小学生に向けた金融教育動画を制作、応募し、その内容を競うものとする
狙い	相手の立場を踏まえた、多角的な理解ならびに年齢に応じた段階的な学びを得ること
ポイント	身近なお金の流れによる、SDGs、エシカル消費に注目
成果目標	①表彰動画は、授業やイベント等で活用し、楽しくお金を学ぶツールとして二次利用を考えている ②お金の流れを知る過程で、キャリア教育も兼ねる ③上記を通じて、優秀な人材への育成に寄与し、スポンサー様へ貢献



# 企画目的(メイン)

ノウハウを活かし  
FESコンテストを通じて

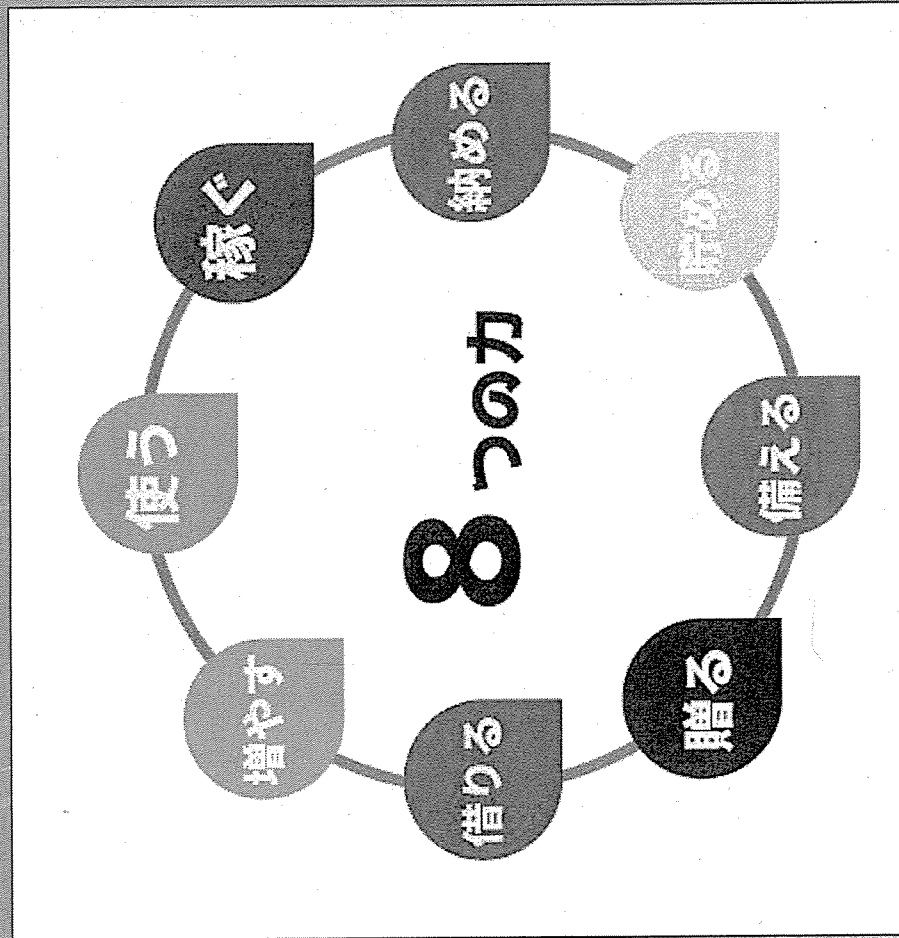


## 8つの力を

総合的に育成し

社会で生き抜く力を

習得させることを目的とする





# 企画目的(サブ)

企業様が、課題を提示

Ex.「投資は応援」を学生達に理解してもらえらるようなコンテンツの依頼

お金にまつわる課題



全国の中高生が挑戦



# ターゲットの学生

## 金融教育にゆかりのない学生

地方に住む中学生・高校生  
お金の使い方を学ぶ機会がなかった学生  
学業には打ち込んできたが、キャリア教育が行き届いていない学生  
興味はあるものの、何をどう初めてよいかわからない学生  
インスタ・推し活・キャラクター等、趣味に没頭している学生



# 審査方法

(予定)

## 応募

### <応募方法>

募集サイト内のフォームからエントリーして提出

### <応募資格>

- ・中・高校生(国内外問わず)
- ・人数制限なし

### <条件>

1分動画(縦型)

## 1次審査

### <選考ポイント>

- ・簡潔明瞭さ
- ・独創性
- ・社会的意義

### <条件>

- ・1分動画(縦型)
- ・小学生向け金融教育の要素を含むこと
- ・8つの力のうち必ず1つを含むこと

## 最終審査

### <選考ポイント>

- ・1次審査の選考ポイントに加え、より深く探究できる環境を提供していること

### <条件>

- ・5分動画(縦型)
- ・その他1次審査と同条件

## 決定

### 受賞動画は

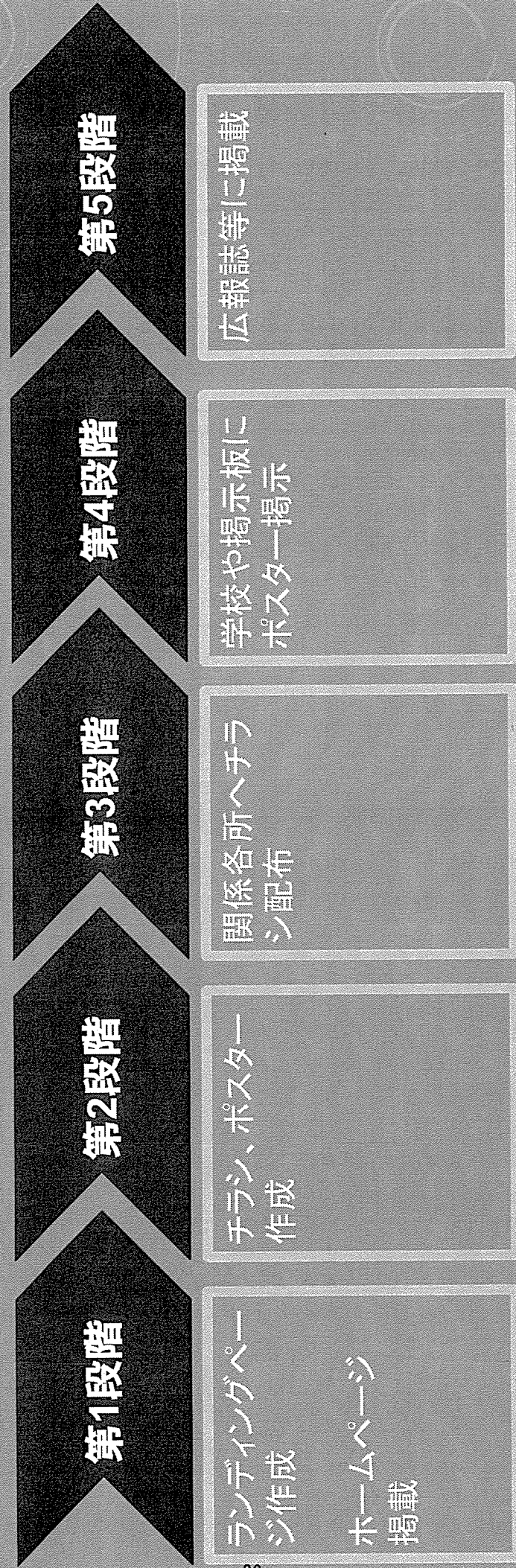
「消費者庁教育ポータルサイト」を含む様々なプラットフォームへ掲載予定

<https://www.kportal.ca.go.jp/>

※受賞動画は、掲載プラットフォームの意向によってはワークショップにてサポートを受けながら横型へ変更の可能性も



# 周知方法



令和5年6月～8月を応募期間とし、LINE公式アカウント登録にて申込受付。  
審査を経て11月に表彰。



# 応募者および運営学生のメリットについて

## 応募者のメリット

- ・全国の学生が応募出来ることにより平等の金融教育に提供が可能
- ・AO入試・推薦入試希望者にとってのチャンス
- ・実際に動画制作を通じ、動画技術等の習得にも寄与

## 運営大学生のメリット

- ・金融教育とキャリア教育を両軸に考えることで、社会への興味の幅を広げる
- ・長期インターンシップ前の豊富な社会経験により適性の把握



## 今後の活動見込み

### FESコンテストの継続展開

- ・各企業・都市での協賛イベントは今後も盛んになると予想され、優秀な人材確保に協力
- ・扱う題材を変えて、継続展開

### 各種大学との連携強化(産学連携)

中央大学を中心に金融教育での地域連携を予定  
⇒当団体にて受注予定、学生の金融リテラシー向上へ貢献し、  
産学連携を行いながら、企業側の人材確保へ貢献





参考)

## リアビズとは

認定NPO法人金融知力普及協会の主催する、高校生が自分たちで考えた商品を実際にネットショップで販売する会社を運営するプログラム。

後援に総務省、協賛にレオスキャピタルワークス等の有名企業がついている。(右図)

後援

総務省

協賛 (第三回大会)



RHEOS CAPITAL WORKS

LEO'S CAPITAL WORKS

**Estore**

協賛

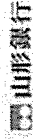


一般財団法人  
三菱みらい育成財団

協力 (第三回大会)



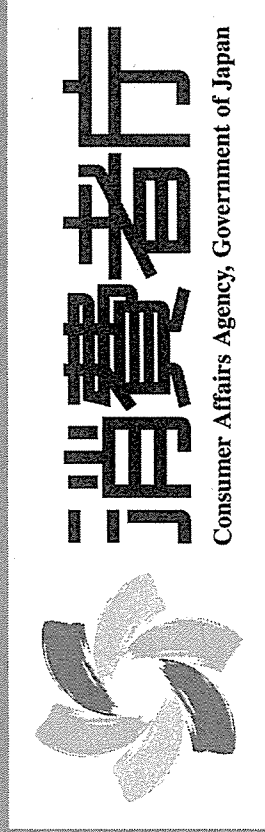
FUNDINNO



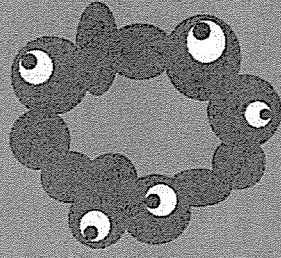


# 当団体における現在の状況

後援



共創チャレンジ参加・後援(申請)



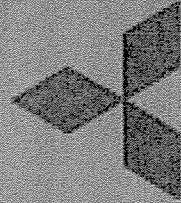
OSAKA, KANSAI, JAPAN  
EXPO2025

協力

都内近郊 教育委員会(予定)

東京証券取引所(予定)

エントリー



一般財団法人

三菱みらい育成財団



## 事業計画書

団体名	一般社団法人日本金融教育支援機構	作成日	3月6日
事業名	Financial Education Support Contest for Student (通称：FESコンテスト) コンテストと称すことで、応募・参加自体にゲーム性を持たせ、金融教育という堅苦しさを中和するイベント名とした。		
協働団体	株式会社ファミスク 学校法人高宮学園代々木ゼミナール 税理士法人アイデアコンサルティング レオスキャピタルワークス株式会社 グリーンモンスター株式会社 東京証券取引所 アドキャスト株式会社 等		
自団体及び協働団体の役割分担	自団体は、「正しい金融リテラシーの提供」を行動指針とし、未就学児から大学生を対象とするイベントの開催、法人向けとして、金融知識普及を目的とした従業員教育、講師育成を行っている。		
提案背景・目的	<p>学習指導要領の改訂により、令和四年度から高校の家庭科の授業で、投資や資産形成まで踏み込んだ金融経済教育が必修となった。これには、文部科学省が、児童生徒がその発達段階に応じて、金融に関する基本的な仕組みや考え方を身につけていくことが重要と考えている背景がある。これまでの日本では「お金の話をするのは下品」、「子どもにはお金の心配はさせたくない」などといった価値観が強く、諸外国と比べて金融教育におくれをとっているといわれている。</p> <p>当団体は、金融リテラシーを向上させるためには、低年齢児からお金を身近なものとして認識する必要があるという考えのもと、正しい金融リテラシーを提供する活動を行っている。</p> <p>令和5年1月5日、当団体の協力によって、文京区消費生活センター主催「新春 お年玉企画 オンラインで楽しく学ぼう お金のクイズ大会」が開催された。積極的に参加する子どもたちの姿が見られたこと、保護者からは高い評価を得たことにより、金融教育ならびに消費生活啓蒙に期待される可能性の高さを感じた。</p> <p>今回企画しているFESコンテストは、大学生のコンペ企画であり、学生が主導し、中高生が応募する、『小学生のための金融教育を伝える動画コンテスト』である。学生の学生による学生のためのコンテストを開催することで、小学生から大学生まで、異なる年代の児童生徒がそれぞれの立場で学びを深めるという金融教育の「入れ子構造」を織りなす側面ももっている。</p> <p>金融教育「使う」「稼ぐ」「備える」「貯める」「納める」「増やす」「借りる」「寄付する」の6つの力を総合的に育成し、社会で生き抜く力を習得させることを目的としている。</p>		
事業概要	<p>「FESコンテスト」は大学生が企画したものであり、中高生が小学生に向けた金融教育動画を制作応募し、その内容を競うものである。生徒が児童に向けた動画を制作するには相手の立場を踏まえる必要があり、その結果、多角的な理解ならびに年齢に応じた段階的な学びを得る狙いがある。</p> <p>身近なお金の流れには消費活動も含まれており、SDGs、とりわけエシカル消費にスポットをあてる制作者もいるものと思われる。</p> <p>お金という観点から消費生活について考える機会となり、自分たちはお金をどのように使うべきか、自分たちはどのような商品を買うべきか、そこから、エコ商品、リサイクル素材などといった商品やサービスに興味を抱ききっかけとなることを想定している。</p>		
対象	全国の中学生・高校生		

周知方法	<p>第一段階：ランディングページ作成、ホームページ掲載  第二段階：チラシならびにポスター作成  第三段階：関係各所にチラシ配布  第四段階：学校や地域掲示板にポスター掲示  第五段階：広報誌等に掲載  令和5年6月～8月を応募期間とし、LINE公式アカウント登録にて申込受付する。  審査を経て11月に表彰。</p>
成果目標	<p>今回の企画によって表彰された動画は、授業やイベント等で活用し、楽しくお金を学ぶツールとする。  学生自体が様々な角度からお金と暮らしについて考えることは、消費生活を意識することにつながり、自分たちが使う商品やサービスの裏側にどのような背景があるのか、どのような人がどのような場所で作っているかの興味を示すようになる。  お金の流れを知ると、商品をつくるための環境や人権に対する関心が高まり、ひいてはSDGsを自分事として捉えて取り組むことになる。</p>
次年度以降の展開	<p>新たな金融教育や消費生活を意識する取組みの手段として、扱う題材を替えながら、継続展開していく。</p>
事故防止及び公衆衛生のための措置について	<p>表彰式のみ都内会場（施設規模は収容定員5,000人以下の施設）にて実施予定。令和5年1月27日東京都発表の通知に基づく対策を行うものとする。「感染防止安全計画」は策定対象外であり、「イベント開催時のチェックリスト（様式）」をHPで公表し、イベント終了日から1年間保管する。問題が発生（クラスター発生の可能性、感染防止策の不徹底等）した場合には、「イベント結果報告フォーム（様式）」を東京都へ提出するものとする。</p> <p>「三つの密」が発生しない席の配置や「十分な人と人との距離の確保（最低1m）」、「マスクの着用」等、基本的な感染防止策を講じる。また、参加者等に対し、イベント等の前後の活動における基本的な感染対策の徹底の呼びかけ等を行う。</p> <p>①飛沫感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクを着用しない者の退場措置の事前周知</li> <li>・マスクを着用しない者に対する個別注意等の実施</li> <li>・イベント会場（席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保</li> <li>・密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築</li> </ul> <p>②エアロゾル感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気</li> </ul> <p>③接触感染策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール等の手指消毒液の設置</li> <li>・イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施</li> </ul> <p>④イベント前の感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ</li> <li>・検温・検査の実施</li> </ul>
登壇者や発言者等に占める男性・女性の人数について	<p>当該イベントにおける選考委員の男女比は5：5である。</p>

## 文京区中学生に向けたワークショップ

事業名	FESコンテストスタディ応募のための動画作成ワークショップ
背景	<p>自作動画投稿が職業の一つとして認知されつつある現代社会において、動画制作に夢を抱く生徒は少なくなく、動画コンテンツを企画から編集まで行う本企画は、生徒にとって魅力的な動機付けとなるものと思われます。また、新しい教育分野として登場した『金融教育』は、未来を担う中高生世代が取り組むのに相応しいテーマであり、制作物が下級生に向けた教材であることも、自らの知識や経験を役立たせる結果となり、自己有用感の高まりにつながります。中高生にとって最も身近な縦型動画と金融教育を掛け合わせることで、多くの学生にとっての学びきっかけとなると想定しています。</p> <p>当団体は、令和5年1月5日に文京区消費生活センター主催「新春 お年玉企画 オンラインで楽しく学ぼう お金のクイズ大会」の協力を図り、参加者ならびに文京区より高い評価を得た実績があります。また、当該企画においては、すでに消費者庁の後援をいただいております。</p> <p>生徒におけるSDGsの理解は非常に高まっていますが、そこに金融教育の学びや動画制作という、これまでにない学習分野を追加することで相乗効果が生じることを期待し、将来を担う生徒世代の学びが日本社会全体の成長に繋がることを目指します。</p>
内容	<p>FESコンテストとは、大学生が主体となり、中高校生が小学生のために金融教育動画を制作し、賞を競うコンテストです。中高生にとって情報発信や収集の手段としてSNSを中心とした縦型動画コンテンツが一般化してきたことを鑑みて発案したプログラムとなります。本企画は、これからの未来を担う生徒たちに対して、将来の選択肢を増やすための金融教育と題して、異なる年代の児童・生徒が各々の視点から金融をとらえ、各々のレベルで理解を深める「入れ子構造」を目的としています。</p> <p>動画作成や投稿に対して躊躇なくできる生徒もいますが、やりたいと思ってもどのようにやっていいかわからない、どこから始めたらいいかわからないという生徒がほとんどです。本企画は、そのような生徒に向けたワークショップです。</p> <p>本企画は動画クリエイターが直接解説・指導することで動画制作や投稿へのハードルを下げることに貢献したいと考えています。</p> <p>また、動画投稿の際に気をつけなければならない「肖像権」「著作権」などについても伝えることで、安全にSNSを利用できるようリテラシーを身につけることもできます。</p>
対象	文京区在住・在学中で金融教育と動画制作に興味のある中学生
周知・場所	<p>対面での開催を想定。</p> <p>Bラボでの展開、ならびに文京区立大塚地域活動センターオープンスペース（中央大学）を利用しながらの継続的な展開。</p>
成果目標	<p>中学生にとって興味関心の高い動画制作を動画クリエイターから直接解説・指導受けられることで、参加することへのモチベーションアップをファーストステップとしての目標とします。さらにその先にある金融教育を掛け合わせることで、お金に関する学習経験を通し、興味関心を持つ動機付けとなることを成果目標としています。</p> <p>また、お金に関する管理・計画的な使い方など基礎的なことを中学生の段階で学ぶことで、お金に対する能力の育成、価値観への影響などの足掛かりとなることを期待しています。</p>
次年度以降の展開	FESコンテストは毎年開催する予定のため、それに伴うワークショップも継続して行っていきます。本年度の参加者がその経験を次年度の参加者に伝えたり、ワークショップのファシリテーターやオブザーバーとして運営サイドのメンバーとして活動することも想定し、大きな学園祭のような盛り上がりになるように働きかけていきたいと考えています。

事業スケジュール

団体名：一般社団法人日本金融教育支援機構

実施内容 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高校向けの広報 期間	●											
動画募集期間			●	●	●							
審査期間						●	●					
表彰式								●				
コンテンツ教材									●	●	●	●
次回イベント準備期間										●	●	●

\*列の数・行の幅は必要に応じて変更してご記入下さい

3  
✓

## 事業予算書

事業名 FESコンテスト (Financial Education Support Contest)

団体名 一般社団法人日本金融教育支援機構

収 入 単位：円		支 出 単位：円	
協賛金収入	4,300,000	消耗品費	500,000
		広告宣伝費	900,000
		人件費	1,200,000
		旅費交通費	300,000
		諸経費	700,000
		支払報酬料	350,000
		通信費	150,000
		消耗品費	200,000
計	4,300,000	計	4,300,000

2023年3月8日

2023/3/6

一般社団法人 日本金融教育支援機構 役員名簿

	氏名	住所（都道府県）
代表理事	平井梨沙	東京都
理事	中林友美	茨城県
理事	阿部奈々	東京都
社員	阿部文香	東京都
社員	吉村鈴	静岡県

登記住所

〒104-0061

東京都中央区銀座 1-22-11 銀座大竹ビジデンス 2F

電話番号

03-6674-1435

ホームページ

<https://faincation.com/>

連絡先

[info@faincation.com](mailto:info@faincation.com)

設立日

2022年12月28日

# 一般社団法人日本金融教育支援機構

## 第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 当法人は、一般社団法人日本金融教育支援機構と称する。

(主たる事務所)

第 2 条 当法人は、主たる事務所を東京都中央区に置く。

(目的)

第 3 条 当法人は、金融の知識を学ぶ場所を提供し、金融に関する講師の育成を通じて、正しい金融リテラシーの普及を図ることを目的とし、その目的に資するために次の事業を行う。

- (1) イベント、セミナー、講演会等の企画、運営、開催及び講師派遣
- (2) 人材育成及び教育研修事業
- (3) 労働者派遣事業及び有料職業紹介事業
- (4) 金融に関する相談事業
- (5) 資格認定試験の企画、制作及び実施、運営
- (6) 広告業及び広告代理業
- (7) 出版事業及びメディアの運営
- (8) アプリ、ソフトウェア、各種システム等の制作、運用及びコンサルティング
- (9) 金融及び経営に関するコンサルティング
- (10) 金融に関する各種企業の経営指導及び業務委託
- (11) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

(公告)

第 4 条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

## 第 2 章 社員

(入社)

第 5 条 当法人の目的に賛同し、入社した者を社員とする。

2 社員となるには当法人所定の様式による申込みをし、代表理事の承認を得るものとする。

(社員の資格喪失)

第 6 条 社員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退社したとき

(2) 死亡し、若しくは失踪宣言を受け、又は解散したとき

(3) 除名されたとき

(4) 総社員の同意があったとき

(退社)

第7条 社員は、1か月以上前に当法人に対して予告することで退社することができる。ただし、やむをえない事由があるときには、社員は、いつでも退社することができる。

(除名)

第8条 当法人の社員が、当法人の名誉を毀損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、社員総会の特別決議によりその社員を除名することができる。

(社員名簿)

第9条 当法人は、社員の氏名又は名称及び住所を記載した社員名簿を作成する。

### 第3章 社員総会

(社員総会)

第10条 当法人の社員総会は、定時社員総会及び臨時社員総会とし、定時社員総会は、毎事業年度の終了後3か月以内に開催し、臨時社員総会は必要に応じて開催する。

(開催地)

第11条 社員総会は、主たる事務所の所在地において開催する。

(招集)

第12条 社員総会の招集は、理事が過半数をもって決定し、代表理事が招集する。

2 社員総会の招集通知は、会日より5日前までに各社員に対して発する。

(決議の方法)

第13条 社員総会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席社員の議決権の過半数をもってこれを行う。

(議決権)

第14条 各社員は、各1個の議決権を有する。

(議長)

第15条 社員総会の議長は、代表理事がこれに当たる。代表理事に事故があるときは、当該社員総会で議長を選出する。



(議事録)

第16条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に備え置く。

## 第4章 役員

(員数)

第17条 当法人には理事1名以上をおく。

(選任等)

第18条 理事は、社員総会の決議によって選任する。

(任期)

第19条 理事の任期は、選任後2年以内の最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため、又は増員により選任された理事の任期は、前任者又は他の在任者の任期の満了する時までとする。
- 3 理事は、辞任又は任期満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(代表理事・職務権限)

第20条 当法人は、代表理事1名以上を置き、社員総会の決議により定める。

- 2 代表理事は、当法人を代表し、当法人の業務を統括する。

(役員報酬)

第21条 役員報酬等は、社員総会の決議をもって定める。

(取引の制限)

第22条 理事が、次に掲げる取引をしようとする場合には、社員総会において、その取引について重要な事実を開示し、その承認を得なければならない。

- (1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引
- (2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引
- (3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除又は限定)

第23条 当法人は、役員的一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という）第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、社員総会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

## 第5章 計算

(事業年度)

第24条 当法人の事業年度は、毎年12月1日から翌年11月末日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第25条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに、代表理事が作成し、直近の社員総会において承認を得るものとする。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、代表理事は、社員総会の議決に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

3 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(剰余金の分配の禁止)

第26条 当法人の剰余金は、これを一切分配してはならない。

## 第6章 附則

(最初の事業年度)

第27条 当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から、令和5年11月末日までとする。

2 当法人の最初の事業年度における事業計画及び収支予算については、第25条第1項の規定にかかわらず、設立時社員の定めるところによる。

(設立時役員)

第28条 当法人の設立時理事及び設立時代表理事は、次に掲げる者とする。

設立時理事 平井 梨沙、中林 友美、阿部 奈々

設立時代表理事 平井 梨沙

(設立時社員の氏名又は名称及び住所)

第29条 設立時社員の氏名又は名称及び住所は次のとおりである。

設立時社員 住所 東京都文京区本駒込2丁目5番4号

氏名 平井 梨沙

設立時社員 住所 茨城県つくばみらい市伊奈東34番地283  
氏名 中林 友美

設立時社員 住所 東京都大田区山王四丁目15番7号  
氏名 阿部 奈々

設立時社員 住所 東京都墨田区墨田二丁目6番21号  
氏名 阿部 文香

設立時社員 住所 静岡県富士市東柏原新田217番地の6  
氏名 吉村 鈴

(法令の準拠)

第30条 この定款に定めのない事項は、すべて一般法人法その他の法令によるものとする。

以上、一般社団法人日本金融教育支援機構設立のため、設立時社員平井梨沙ほか4名の定款作成代理人である行政書士石下貴大は、電磁的記録である本定款を作成し、これに電子署名する。

令和4年8月15日

設立時社員 平井 梨沙

設立時社員 中林 友美

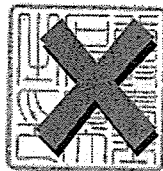
設立時社員 阿部 奈々

設立時社員 阿部 文香

設立時社員 吉村 鈴

上記設立時社員の定款作成代理人

行政書士 石下 貴大



社団法人日本金融教育支援機構

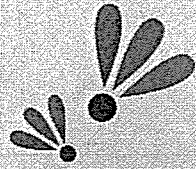
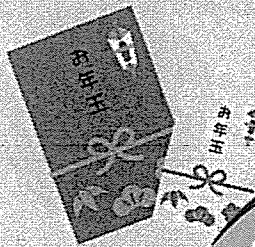
金融教育イベント実績

平井梨沙の実績

2021年12月	FPとして独立
2022年2月	キッズマネーステーション認定講師所属開始
2022年7月	東京都小金井市教育委員会 主催 「お小遣い会議」(小金井市公民館)
2022年9月 (平井梨沙 中林友美)	ベネッセ学童 500名 金融教育すごろくイベント (オンライン)
2022年9月 (平井梨沙 中林友美)	東急オアシス従業員のお子様向け 金融教育すごろくイベント
2023年1月 (平井梨沙 中林友美)	文京区経済課主催 「お年玉企画 オンラインで楽しく学ぼうお金のクイズ大会」 (オンライン) 12組
2023年3月 (平井梨沙 中林友美)	文京区経済課主催 「コロケを高く売れるのは誰だコンテスト」 (オンライン) 定員 100名
2023年3月	パソナグループ 「内定者向け 30年後の幸せに投資をする お金と共働きになる方法」(オンライン) 100名
2023年4月26日	どう伝える？子どものうちの教えたいお金のこと 文京区民センター地下1階ファミコム  地域連携ステーション ファミコム
2023年4月～(月1回)	ヘーベルハウス イクシモプロジェクト 「知って得する！知らないと損する？！ 産育休中のママが知っておくべきお金のコト」 世田谷展示場にて

中林友美の実績

2019年4月	フローレンス FP オフィス立ち上げ
2019年2月～2022年2月	職業訓練校の求職者支援の一環で金融教育を行う（全員が離職者のため、主に年金・社会保険の説明をメインにiDeCo・NISA制度の解説などを行った）。
2021年7月	ナースの人生を輝かせるマネーリテラシーセミナー
2021年10月～12月	オンラインにて「医療従事者の人生を輝かせるマネーリテラシーセミナー」月2回開催
2021年12月	一般社団法人 me&nurse 群馬支部にて「医療・介護の専門職必見！ お金に働いてもらう方法」登壇
2022年1月	一般社団法人 me&nurse コネクトナース 8期生養成講座にて 「いまを生きる看護師に必要なマネーリテラシー」
2022年3月	旭川荘厚生専門学院の看護学生に対してキャリアとマネープランについて解説
2022年7月	一般社団法人 me&nurse コネクトナース 9期生養成講座にて “いまを生きる看護師” に必要なマネーリテラシー」



参加型  
講座

# 新春 お年玉企画

## オンラインで楽しく学ぼう お金のクイズ大会

お金にまつわるクイズを通して楽しくお金について考えましょう。

クイズで正解するとポイントがゲット!  
稼いだポイントをお年玉に見立て、子どもたちに  
どうやって使うかを考えてもらいます。



**1月5日(木) 13:00-14:15**

(12:45 開場)

- 対象 小学生
- 申込方法 右下のQRコードよりお申し込みください。
- 申込期間 12月20日(火)～27日(火)
- 開催方法 オンライン(zoom)

お問い合わせ 文京区消費生活センター <平日 9:00～17:00>

〒112-8555 文京区春日 1-16-21 電話：03(5803)1105  
申し込みフォーム URL：https://logoform.jp//1yQto



主催：文京区消費生活センター / 協力：株式会社ファミスク



身近な「コロッケ」を題材に原材料、物の値段、お金の価値、円高円安、税金などなど  
 お金に関する知識をオンラインでクイズやルーレットで楽しく学んで、  
 コロッケを高く売するための工夫を競うコンテストです！  
 小学生のうちに知っておきたいお金の知識を春休みに楽しく学んじやおう！

実施日程	
3/26 (日) ①10:00 ~ 11:30	②14:00 ~ 15:30
3/27 (月) ③10:00 ~ 11:30	④14:00 ~ 15:30
3/28 (火) ⑤10:00 ~ 11:30	

**対象**

文京区在住・在学の小学1年生～6年生

**申込方法**

保護者の方が、株式会社ファミスク公式 LINE アカウントよりお申し込みください。  
申込者の情報は本講座の運営にのみ使用し、他の用途には使用いたしません。

**申込期間**

3/10(金)～3/20(月) 17時まで  
各回定員20名(申し込み先着順。定員に達し次第締め切り)

**実施方法**

オンライン (Zoom)  
 費用：無料 (通信料は受講者負担)



**お問い合わせ** 株式会社ファミスク 電話番号 03-4363-1065

主催：文京区消費生活センター  
 協力：株式会社ファミスク、一般社団法人日本金融教育支援機構、一般社団法人日本コロッケ協会



一般社団法人 日本金融教育支援機構ではさまざまな年齢に合わせて  
楽しみながら学べる金融（金融）教育の企画・運営・フォローアップを行っています。



# 不安を安心に、 そして自信へ

生き抜く力につながる金融教育

## 生活する上でとても大事な「お金」のこと。

今、改めて学ぶことの重要性が認識されてきています。お金のことを考えることは人生のことを考えることにつながると私たちは思っています。将来の選択肢を増やし、たとえ間違った選択をしても、またやり直すことができる力を



文部科学省の方針である新・学習指導要領の金融教育内容と金融庁の金融広報中央委員会の金融教育プログラムを企業様との協業でコンテンツ化し提供しています。



学校における金融教育の年齢層別目標を主軸にし、ながら、当団体が独自に作成した未就学児から大学生まで自分事として学べる楽しい金融教育コンテンツを提供しています。



イベント開催にあたり当団体の養成講座を受講した金融教育に関する一定のスキルを有した講師陣を派遣いたします。

小中学校やPTA（親子向け）、学童保育、児童館、子ども向けイベントなどさまざまなご要望を承っております。お気軽にお問い合わせください。

### 所属講師



栗井 梨沙 (むらい りさ)  
早稲田大学卒業  
文京区在住、6歳と2歳の二児の母親。  
大塚証券株式会社勤務後、日本生命保険相互会社に転職。企業型確定拠出年金を中心に、証券、税金、年金の視点より4000名程度の相談業務に携わる。2022年金融教育事業を主軸として株式会社ファミスクを設立。子どもの頃の経験より、金融教育の重要性を痛感。株式会社ファミスクでは大学生へのキャリア教育も行っている。

中井 支美 (なかい よしとも)  
富山医科大学大学院 (現・富山大学大学院) 修士課程修了  
かんぽ旅行株式会社で看護師、副看護師長として勤務。退職後、ファイナンシャルプランナーとキャリアコンサルタントの資格取得し独立営業。自身が子育てをする中でお金について子ども学ぶためにさまざまなツールを用いた経験から、子ども向け金融教育の企画・運営に関わる。子ども向けイベントでは、看護師として培った対応力と観察力を発揮しながら、いつも全力で子どもたち以上に楽しんでいる。



### お問い合わせ

一般社団法人 日本金融教育支援機構

ウェブサイト：<https://faincation.com/>  
メールアドレス：[info@faincation.com](mailto:info@faincation.com)

電話番号

03-6674-1435



HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE



イクジ シゴト  
育児モ仕事モ

HEBEL-HAUSが  
応援します!



お父さん・お母さんの

育仕両立支援プロジェクト:

イクシモ

会場: オークランド住宅公園ヘーベルハウス展示場

セミナー開催

2023. 4.13 Thu 13:00-14:00

テーマ 知って得する! 知らないと損する?! 産休中のママが知っておくべき「お金のコト」

復職した後の不安の一つでもある「お金」保育料・病児保育・ベビーシッター・習い事・・・  
働きながらの子育てはお金の不安がつきものです。

復職後ってどのくらいの収入になるんだろう? 老後ってどのくらいの貯蓄が必要? 投資って本当に必要??? 誰でも出来るの?

そんな疑問や不安を解決します。

だいじな「お金」について楽しく学び、「お金と共働き」しませんか?



講師

一般社団法人日本金融教育支援機構 代表理事  
株式会社ファミスク 代表取締役  
平井 梨沙



学習院大学卒業、5歳と2歳の母親。  
大和証券株式会社に勤務後、日本生命保険相互会社に転職。  
団体年金部(確定拠出年金専門)に配属。金融商品や制度においては、加入や購入といった入口の部分ではなく、その先にある、受け取りや売却といった出口部分こそ、サポートが必要であると感じFPとして独立。  
2022年金融教育事業を主軸として株式会社ファミスクを設立。現在では小学生向けの金融教育を行政や教育機関と行っている。また自身の範囲での子育て経験や、住宅購入の経験をきっかけにご家族の想いに寄り添いながらお客様の不安を安心に変えるご提案を得意としている。

ほかのプログラムについても順次HPで情報を更新しています。HPから会員登録をして予約してください。  
<https://www.asahi-kasei.co.jp/hebel/area/tokyo/ikushimo/index.html/>



旭化成ホームズ株式会社 東京営業本部 マーケティング室 ☎ 0120-951-081

協力: お母さん大学 (株)お母さん業界新聞社

[受付時間] 10:00~17:00(定休日) 火曜・水曜

✉ ikushimo@om.asahi-kasei.co.jp

No.84

April 26

＼ どう伝える？ ／

# 子どものうちに教えたい

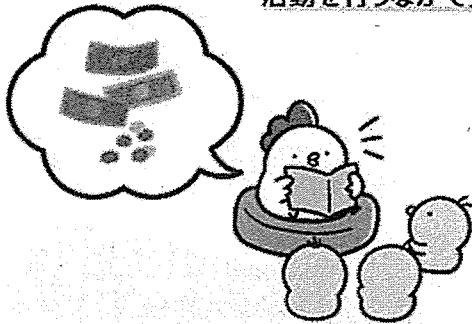
## お金のこと



金融教育に取り組むゲストから、活動をはじめたきっかけや、

子どもたちにお金の仕組みをどう伝えるか、

活動を行うなかで大切にしていることを伺います。



### ゲスト 平井 梨沙さん

学習院大学卒業。大手証券会社、生命保険会社を経験。金融教育の重要性を実感し、独立。商品販売を行わない独立系FPとして活動する傍ら、小学生から大学生向けの金融教育を行っている。2023年3月、文京区の経済課より委託事業者として金融教育のイベントを受注。



／団体で活躍する学生さんにもお話しいただく予定です！

## 2023年4月26日 水

**時間** 19:00～20:30

**会場** 文京区民センター地下1階  
フミコム(文京区本郷4-15-14)

**費用** 無料

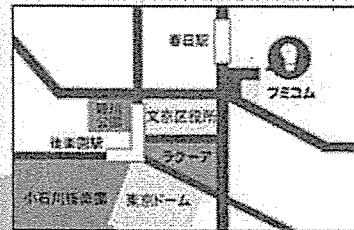
**定員** 15名(申込順)

※手話通訳が必要な場合は4月5日(水)までにお知らせください

**申込** 電話、メール、Peatixのいずれかの方法でお申込みください



Peatixは  
こちらから



### 地域連携ステーション フミコム

文京区本郷4-15-14 文京区民センター地下1階

電話: 03-3812-3044 FAX: 03-5800-2966

メール: fumikomu@bunsyakyo.or.jp

Peatix: <https://fumicomcafe84.peatix.com/>

フミコムは、地域の活性化や地域課題の解決を目的し、新たな担い手の育成や、新たなつながりを生み出すための各種事業を行っている協働の拠点です。社会福祉法人 文京区社会福祉協議会が運営しています。





# 第1回

一般社団法人 日本金融教育支援機構

中高生を  
対象とした  
金融教育動画  
コンテスト

イベント運営は  
大学生

コンテスト応募者は  
中高生

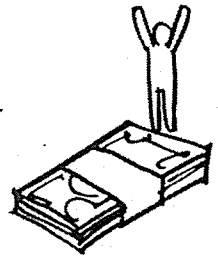
表彰された動画は  
小学生  
の教材に

# FRES コンテスト

## Financial Education Support Contest for Student



“金融教育を自分ごととして考える”ことを目的として、  
大学生が主体となり、中高生が応募する、小学生にお金について伝える動画コンテスト  
金融教育動画投稿コンテストを開催します。



優秀な作品は、消費者庁の教材、当団体での金融教育の授業で使用される予定です。

### Study 部門

テーマ：お金に関する8つの力から一つを選択  
条件：1分以内の縦型動画  
※応募の詳細は裏面に記載



### Challenge 部門

テーマ：各企業の提示するテーマから一つを選択  
条件：1分以内の縦型動画  
※応募の詳細は裏面に記載



応募  
期間

未定

応募  
方法

応募サイト内フォームより  
規定に沿って動画を投稿



応募  
資格

全国の中学生・高校生  
※チーム・個人応募ともに可

作品  
条件

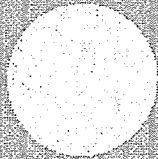
提示されたテーマに沿った動画作品

主催 一般社団法人 日本金融教育支援機構  
協賛 株式会社〇〇 株式会社〇〇  
協力 株式会社〇〇 株式会社〇〇 株式会社〇〇  
後援 消費者庁

お問い合わせ  
応募先

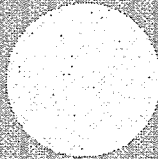
一般社団法人 日本教育支援機構  
〒〇〇〇-〇〇〇 aaaaaaaaaaaaaaaaaa  
TEL:000-000-0000 Mail:aaa@aaa.com

# 審査員



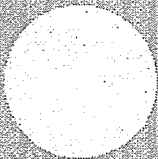
山田 太郎

株式会社〇〇代表取締役



山田 太郎

株式会社〇〇代表取締役



山田 太郎

株式会社〇〇代表取締役



山田 太郎

株式会社〇〇代表取締役



山田 太郎

株式会社〇〇代表取締役



山田 太郎

株式会社〇〇代表取締役



山田 太郎

株式会社〇〇代表取締役



山田 太郎

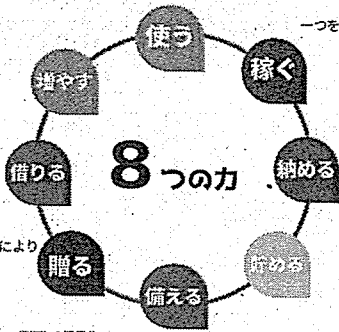
株式会社〇〇代表取締役



山田 太郎

株式会社〇〇代表取締役

## Study 部門賞



8つのテーマの中から一つを選び応募してください。

1次審査および最終審査により各賞を決定いたします。

**最優秀賞** 1点 (副賞) 5万円分

**優秀賞** 2点 (副賞) 2万円分

**優秀賞** [中学生部門] 1点 (副賞) 2万円分

**作品賞** [Think, Action, Message 賞] 各1点 (副賞) 5000円分

**輝く未来賞** 1点 (副賞) 1万円分

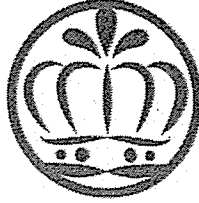
審査の観点\*の各項目において優れた作品に贈られる賞

万様に発想するテーマにおいて優れた作品に贈られる賞

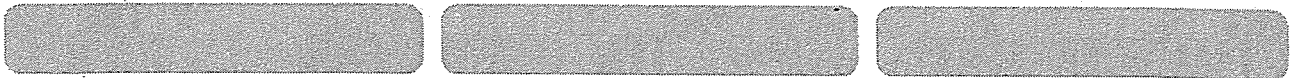
## Challenge 部門賞

〇〇賞 テーマ:「〇〇〇〇」 (副賞)〇〇関連商品	〇〇賞 テーマ:「〇〇〇〇」 (副賞)〇〇関連商品
〇〇賞 テーマ:「〇〇〇〇」 (副賞)〇〇関連商品	〇〇賞 テーマ:「〇〇〇〇」 (副賞)〇〇関連商品
〇〇賞 テーマ:「〇〇〇〇」 (副賞)〇〇関連商品	〇〇賞 テーマ:「〇〇〇〇」 (副賞)〇〇関連商品

## 応募から審査まで

応募する	1次審査	最終審査	受賞作品決定
<b>応募方法</b> 募集サイト内のフォームからエントリーして提出  <b>応募資格</b> ・中・高校生(国内外問わず) ・人数制限なし  <b>条件</b> 1分以内の動画(縦型)	<b>選考ポイント</b> ・簡潔明瞭さ ・独創性 ・社会的意義  <b>動画条件</b> ・1分以内の動画(縦型) ・小学生向け金融教育の要素を含むこと ・7つの力のうち必ず1つを含むこと	<b>選考ポイント</b> ・1次審査の選考ポイントに加え、より深く探求できる環境を提供していること  <b>動画条件</b> ・5分以内の動画(横型) (最終審査ではワークショップで制作をサポートします!)	受賞作品は「消費者庁教育ポータルサイト」を含む様々なプラットフォームへの掲載を予定しています!  

## 実行委員会からのコメント



2023年3月6日

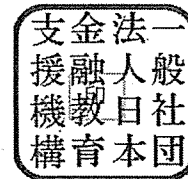
## 確認書

文京区教育委員会 殿

住所（所在地） 東京都中央区銀座1-22-11 銀座大竹ビジデンス2F

申請者（申請団体） 一般社団法人日本金融教育支援機構

代表者名 平井 梨沙



文京区教育委員会 共催・後援名義を申請するに当たり、文京区教育委員会  
後援名義等使用承認要綱を遵守し、以下の行為は行いません。

- 1 営利を目的とした行為  
(物品の販売、会員の勧誘、営利目的事業の宣伝・チラシ配付等の行為)
- 2 政治的又は宗教的な行為
- 3 その他委員会の教育方針等に反する行為

仮に違反した場合、後援名義等使用承認要綱に基づき、後援名義使用の承認を  
取消されることを了解しています。